



10周年記念大会 アンケート結果

10年間のQの会の活動を評価していただくために、記念大会参加者にアンケートを実施しました。参加者53名のうち41名より回答をいただきました。

研修会の参加回数は、1回から5回が34%、6回から10回が31%、16回以上も22%を占めていました。研修会での学びについては、「糖尿病についての最新の知識や技術を得ることができ、実践の手がかりになった」「また、自身が抱えている悩みが解決でき看護を振り返ることが出来た」「CDEの単位取得をすることが出来た」などで90%以上の方ができたと回答しました。理由として「当初に比べて研修の質が向上している」「役立つ内容が多い」「香川県で新しい知識や技術をタイムリーに学ぶことが出来る」などの意見が有りました。しかし「各施設における糖尿病看護に関する情報や実態を知り参考にする」「糖尿病に関心を持つ人との交流が出来

た」については、あまりできなかったと回答した人が10から15%とやや高い結果でした。病院間の連携や情報交換の場として期待されていることを感じました。今後の研修会の内容についての希望は「ナラティブアプローチ」「高齢化社会に向けての在宅での取り組み」「女性と糖尿病」「新薬について」などがありました。また研修会の開催についての希望は「駅の近くでしてほしい」「年に3回してほしい」「1群3単位取得できる研修を続けてほしい」でした。ニュースレターに期待することは「会員の療養支援のエピソードやほっこりする話を掲載」「会員の病院紹介」「各施設の活動内容の紹介」「糖尿病についての本の紹介」を掲載してほしいという意見が有りました。その他Qの会へのご意見ご要望として「他県の情報を知りたい」「ニュースレターをメールで発送」でした。今後は、アンケート結果を各委員会でご検討し、より一層、会員の皆様に喜んでいただける活動していきたいと思えます。



学会・研修会のご案内

認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。

☆第20回日本糖尿病教育・看護学会学術集会

第1群または第2群 4単位

学術集会長・宮武 陽子

日時：9月21日(月・祝)～

22日(火・祝)

場所：サンポートホール高松・

かがわ国際会議場 他

メインテーマ

「地域文化に根ざした」その人らしさ」を支える糖尿病ケア」

事前参加登録申込期間…

5月18日～7月24日

今回の開催にあたりましてQの会のメンバーも協力して準備にあたっていきます。

☆第58回日本糖尿病学会年次学術集会

第2群 4単位

日時：2015年5月21日

(木)～24日(日)

場所：海峡メッセ下関他

連絡先：FAX 0836-22-23342

☆日本糖尿病協会療養指導学術集会

日時：2015年7月25日

(土)～26日(日)

場所：国立京都国際会館

連絡先：FAX 03-3514-1725

“Qの会10周年記念大会に寄せて” Qの会の活動に参加する喜びと誇り、願い”

宮武陽子

月日のたつのは早いもので、Qの会が誕生して10年目を迎えました。この10年間、糖尿病治療やケアなど取り巻く状況は大きく変貌し、Qの会もその例外ではありません。何より大きく変わったのは、会員の皆さまの患者さまを見つめる深く温かいまなざしと実践への自信の獲得だと思えます。私はいつも参加の方々から研修会での事例(患者さま)の思いに寄り添い、熱心に議論する姿勢に深い感動を覚えます。そのような場面に接すると癒され、明日への活力となります。Qの会の研修会では糖尿病のケアを通して、病者や仲間とつながっていく実感があります。継続は力なりと言われますが、この10年間のQの会の歩みは、ひとえに、臨床の貴重な体験や意見を寄せて頂く会員の皆さま、傍らから温かく会の成長を見守り、励まし続けてくださる医師たち、そして何より、研修の企画・運営、研究の推進、広報やネットワーク網拡張など、活動に知力と時間を提供してくださる理事・監事の皆さまの献身のおかげと感謝しています。Qの会では、働く場や職位、資格の有無にかかわらず感じること考えたことを自由に話せる雰囲気があります。そして、皆様が役割と責任を担って行動していくという、全国的に数少ない組織の成功例だと思います。私はそのようなQの会の会員であることを誇りに思います。

これからの課題は、会員みんなで築いてきたQの会活動をより確かなものにし、これまで培ってきた、お互いを思いやり、支え合う雰囲気や礎に、より成熟した組織になっていくことではないかと思えます。成熟した組織は、多様性を受け入れ、そして、さらなる発展のために恐れず高みの世界に足を踏み出すことができる組織だと思います。“地道にこつこつ大胆に”歩いていきたいと思っています。

◆編集後記

Qの会10周年記念大会のアンケートより、皆様のご要望のあった病院の紹介や活動内容を連載させていただきます。他施設の取り組みなどは是非ご参考ください。 木村裕美・串田久美